

I : 2023年3月期 中間決算概要

II : 中期経営計画

III : サステナビリティ推進に関する方針、取り組み

名 称	中期経営計画「Let's Do It !」 ～社員輝き 地域伸びゆく～
目指す姿	お客さまの共感と感動を呼び、地域に必要とされる企業グループ°
計画期間	2021年4月～2024年3月（3カ年）
基本戦略	● コンサルティング型ビジネスモデルの強化 ✓ カウンセリング・コンサルティング・コーチングを通じてお客さまの本業支援・課題解決を図るビジネスモデルの構築 ✓ 個人のお客さまのライフステージに合わせて適切な提案を行う体制の強化 ✓ コンサルティング型のビジネスを行うためのスキル明確化と人材育成プラン整備 ● お客さまとの接点強化 ✓ 地域・お客さまのニーズに合わせた店舗の機能別再編 ✓ 非対面チャネル強化およびデータ利活用によるカスタマーエクスペリエンスの向上とお客さま接点の拡充 ● 業務プロセス改革 ✓ 業務プロセスの見直し・業務のデジタル化による生産性向上、社員の働き方改革

計数目標	目標値 (2024/3期)	2022/3期 実績	2023/3期中間 実績
(単体) 顧客向けサービス利益（本業利益）※1	黒字化	▲7億円	9億円
(連結) 自己資本比率	8.3%以上	8.74%	8.79%
(連結) コアOHR ※2	75%台	75.7%	66.9%
(連結) 当期純利益 ※3	95億円以上	106億円	58億円
(単体) 役務取引等利益比率 ※4	13%以上	10.2%	9.6%
事業先に対するコンサルティング提案件数 ※5	3,300件以上	4,020件	1,936件
個人に対するコンサルティング提案件数 ※6	33,000件以上	32,352件	18,451件

※1 預貸金利息＋役務取引等利益－経費

※2 経費÷コア業務粗利益

※3 親会社株主に帰属する当期純利益

※4 役務取引等利益÷コア業務粗利益

※5 事業計画策定支援件数・事業承継相談件数・BM商談設定件数・医療等にかかる有益情報取得件数 など

※6 預り資産提案件数・信託提案件数 など

①コンサルティング型ビジネスモデルの強化

(ローカル・コ・プロジェクト)



自治体向けコンサルティングチーム

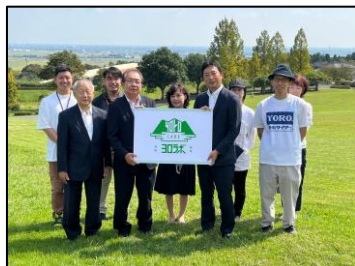
LOCAL #Co-PROJECT

自治体が抱える「人口減少」や「観光客の誘致力不足」などの問題に対して、「共創型コンサルティング」をテーマに、OKBグループが培ってきた独自のノウハウやネットワークなどを活用し、地域課題の解決に取り組んでいます。

【業務内容】

・プロモーション業務・ブランディング業務・DX支援業務・調査・計画策定業務

養老町「養老公園観光拠点整備プロジェクト」企画・運営業務の受託



養老町の「地域資源に付加価値創出」をテーマに養老駅舎を核とする歴史的な既存施設を拠点化し、観光活性化する取り組みを加速・発展させるべく、本プロジェクトを受託しました。

養老公園を拠点に「観光消費拡大に向けた実証実験を行う」という意味を含め、本プロジェクトの通称名を「YOROラボ」とし、各種事業の企画・運営に取り組んでいます。

Co-creation(共創)



Connect(つなぐ)



LOCAL #Co-PROJECT



Coordination(コーディネート)



Consulting(コンサルティング)

海津市「羽根谷だんだん公園キャンプエリア設置に関する支援委託業務」の受託

海津市が、交流人口の増加と賑わいのあるまちづくりに寄与することを目的に市内の「羽根谷だんだん公園」にキャンプエリアを設置する計画。OKBはこの計画をサポートすべく、キャンプエリア設置に向けた実証実験を受託しました。

2023年のキャンプエリア設置に向けて実証実験や運営ルール・マニュアル策定のサポート、現地調査などを行っています。今年の夏には、テストキャンプを行い、キャンプ場としての課題を抽出したほか、夏祭り際にはテントブースを出してキャンプエリアの設置をPRしました。



②お客さまとの接点強化

店舗ネットワークの再構築

キャッシュレス化や非対面チャネルの浸透により銀行店舗に求められる役割が大きく変化している状況を踏まえ、**経営資源の最適な配分を一層進めることによって、ニーズの変化にマッチした店舗ネットワークを構築**しています。

店舗の機能別再編

地域の特性に合わせて店舗を機能別に再編、各店舗の役割に特化することで効率的な営業体制を構築するとともに、フルバンキング店舗に人員を集約することでOJTを通じた効果的な人材育成を行いサービスの質の向上を図ります。

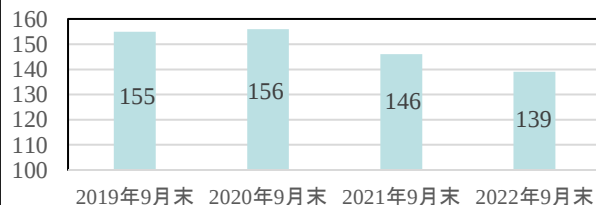
店舗の移転統合（同居型店舗化）

複数の店舗が同じ建物内で営業する「同居型店舗」化を進め、拠点の効率化と人員の再配置を行っています。

「OKBそうだん広場」

一部の店舗統廃合後の跡地には、最寄りのアクセスポイントとしてお客さまとの接点を保ち、どんなことでも気軽に相談いただける対応拠点「OKBそうだん広場」を設置しています。

拠点数推移



▲OKBそうだん広場

OKBアプリ

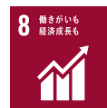
アプリを立ち上げるとOKBの口座残高や入出金明細が一目で確認でき、「一生通帳 by Moneytree」を通じて、OKB以外の銀行の口座残高やクレジットカードの利用明細なども確認できます。

2021年6月にバージョンアップを実施し、最適な家計管理や資産形成を提案する**パーソナルレコメンドサービス「L i f i t」**（ライフフィット）の取り扱いを開始しました。OKBが保有する取引データなどを活用し、AIがお客さま一人ひとりに合った“お金との向き合い方”を提案することで、お客さまのより豊かな生活づくりをサポートします。

ダウンロード数 **17万件突破！**
(2022年9月時点)



③業務プロセス改革



営業店窓口の受付方法変更

これまでの営業店窓口では、お客さまの来店目的にかかわらず、ご来店順に受付対応を行っていましたが、**標準的なカウンターラインの見直しにより「総合受付」「クイックカウンター」「サービスカウンター」を設置した新しい受付方法へ順次変更**しています。これにより、最初に総合受付にて伺ったご用件に合わせて適切な窓口にご案内するとともに、新型のセミセルフ端末を活用したスピーディな対応を進めることで、**ご来店されるお客さまの利便性の向上と受付事務の効率化**を実現しています。

また、窓口業務以外にも伝票などの事務処理やお客さま宛の郵便物の発送、相続に関する事務など、営業店のさまざまな後方事務を本部の業務サポートセンターへ集約していき、**営業と事務が混在していた営業店業務を、より営業に注力できる体制**へシフトしています。

総合受付

最初に総合受付にてご用件を伺い、お客さまを来店目的に応じた窓口にご案内します。

クイックカウンター

新型のセミセルフ端末をOKB社員が操作し、お客さまに内容を確認していただきます。キャッシュカードや手のひら認証により、伝票などへの記入や押印が不要となります。

サービスカウンター

新規口座開設や届出事項の変更など、一定の時間を要する取引を受け付けします。



内容	スケジュール		
	2022年3月期	2022年9月末	2024年3月期
営業店レイアウトの見直し	—	13店舗で実施	年度内に対象店舗の工事完了予定
後方事務の集約化	相続センターおよび業務サポートセンター設置	業務サポートセンターの対象業務拡大中	